

食堂スペースが電源のあるワーキングスペースへ

課題

会議室不足への対応として食堂をワーキングスペース化したものの、電源環境が十分に整備されておらず、PCを快適に利用できないことが課題

解決策

食堂スペースに充電ステーションを設置
電源工事や配線の延長を行うことなく、ワーカーが必要な場所で充電できる環境を実現

導入写真



crevio Pro（クレビオ プロ）を食堂スペースに常設、食堂が電源のあるワーキングスペースへ

導入製品

crevio.
Pro



crevio Pro(クレビオ プロ)
TLP142BZK-5S

デザイン性と先進機能を兼ね備え、
フリーアドレスオフィスや会議室での電源不足を解消

- 安全・長寿命。リン酸鉄バッテリーを使用
- 最大6年間。安心の保証サポート
- ノートパソコン・タブレット対応。
高出力・大容量バッテリー（容量：27,000mAh）
- 置くだけでラクラク。「接点式」の充電ステーション



東京都港区のTOTO株式会社東京汐留事業所 受付にて
導入事例のインタビューにご協力いただいたTOTO株式会社 総務本部 東京総務部 東京総務・秘書グループ 田中魁様

1.導入前の課題

会議室や食堂スペースでは、コンセント不足や配線の煩雑化が課題となっていました。特に電源環境を整備するための工事にはコストと手間がかかるため、より手軽にPC利用環境を整備できる方法が求められていました。また、食堂をワーキングスペースとして活用するニーズが高まる中、柔軟に利用できる電源ソリューションの導入が課題となっていました。



2.導入理由

会議室の電源環境を整備するには工事費用がかかることから、その代替手段としてバッテリー型の製品を検討していました。PCを利用できる環境を手軽に整備できる点を評価し、まず会議室へ導入しました。その後、食堂のリニューアルに合わせて食堂エリアにも展開し、さらに新モデルcrevio Pro（クレビオ プロ）の発売を機に追加導入を決定しました。

3.導入後の効果

PCスタンドとバッテリーが一体化した省スペース設計により、デスク周りをすっきり保ちながら快適に作業できる環境を実現しています。食堂のリニューアル後はワーキングスペースとしての利用も増え、社員が柔軟に働ける環境づくりに役立っています。

また、従来は延長コードが必要だった場所でも手軽に電源を確保できるようになり、安全性や利便性の向上にもつながりました。会議室だけでなく食堂などの共用スペースでも快適にPCを利用できるようになり、オフィス空間の有効活用と働き方の多様化を支えています。

